

放射線科学

2 単位 (選択) 1 年 (通年), 2 年 (通年), 3 年 (通年)

Radiology

原田 雅史・教授 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 大塚 秀樹・教授 / 医学専攻 生体防御腫瘍医学講座, 生島 仁史・教授 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
上野 淳二・教授 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 松崎 健司・准教授 / 医学専攻 生体防御腫瘍医学講座, 竹内 麻由美・講師 / 医学専攻 生体防御腫瘍医学講座

【授業目的】放射線診断学と放射線腫瘍学の研究に関する方法論を習得させ, それに基づいて病態放射線医学の先端的研究を推進するよう指導する

【授業概要】放射線画像診断学と放射線腫瘍学について体系的に講義を行う。特に, 画像診断学では 3 次元画像による立体的な形態診断と核医学および磁気共鳴スペクトロスコピーによる機能診断について解説するとともに, 放射線腫瘍学では放射線治療法および腫瘍の集学的治療法に関して解説する。

【授業方法】オムニバス方式

【履修上の注意】あらかじめ授業内容に関連した文献を読んでおき, 疑問点について積極的に発言し議論に参加すること。

【授業計画】

	大項目	担当
1.	画像診断学 (3 次元画像の基礎理論)	西谷
2.	画像診断学 (3 次元画像の臨床応用)	上野
3.	画像診断学 (核医学による機能診断の基礎理論)	大塚
4.	画像診断学 (核医学による機能診断の臨床応用)	〃
5.	画像診断学 (磁気共鳴スペクトロスコピーによる機能診断の基礎理論)	原田
6.	画像診断学 (磁気共鳴スペクトロスコピーによる機能診断の臨床応用)	〃
7.	画像診断学 (形態と機能の総合的画像診断 1. 歴史と現況)	西谷
8.	画像診断学 (形態と機能の総合的画像診断 2. 将来展望)	〃
9.	放射線生物学	生島
10.	高エネルギー放射線治療システム	〃
11.	外部放射線治療の基礎	〃
12.	外部放射線治療の臨床	〃
13.	密封小線源治療の基礎	〃
14.	密封小線源治療の臨床	〃
15.	放射線治療における品質保障・精度管理	〃

【成績評価】出席状況, 質疑応答といった授業への取り組み姿勢などに基づく平常点での評価を行う。

【再試験】行わない。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217543>

【連絡先】

⇒ 原田 (masafumi@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 金曜日 午後 5 時から 7 時)

⇒ 大塚 (hotsuka@clin.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 生島 (088-633-9051, ikushima@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 上野 (088-633-9020, ueno@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 毎週金曜日 16:30-17:30)

⇒ 松崎 (kenji@clin.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 竹内 (mayumi@clin.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL